

※本文内の()内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

◎医学部医学科志願状況

□前期、後期いずれもやや減少

〔設置・日程別志願状況〕

		2025年度	増減数	指数	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
募集人員	前期	3,550	-26	99	3,576	3,593	3,636	3,604	3,597	3,644	3,676	3,699
	後期	346	-5	99	351	351	363	408	454	524	539	541
	合計	3,896	-31	99	3,927	3,944	3,999	4,012	4,049	4,168	4,215	4,240
志願者数	前期	15,306	-667	96	15,973	15,960	15,087	14,773	14,742	16,390	17,064	18,093
	後期	6,651	-412	94	7,063	7,550	7,255	7,110	7,404	9,081	8,969	9,927
	合計	21,957	-1,079	95	23,036	23,510	22,342	21,883	22,146	25,471	26,033	28,020
志願倍率	前期	4.31			4.47	4.44	4.15	4.10	4.10	4.50	4.64	4.89
	後期	19.22			20.12	21.51	19.99	17.43	16.31	17.33	16.64	18.35
	合計	5.64			5.87	5.96	5.59	5.45	5.47	6.11	6.18	6.61

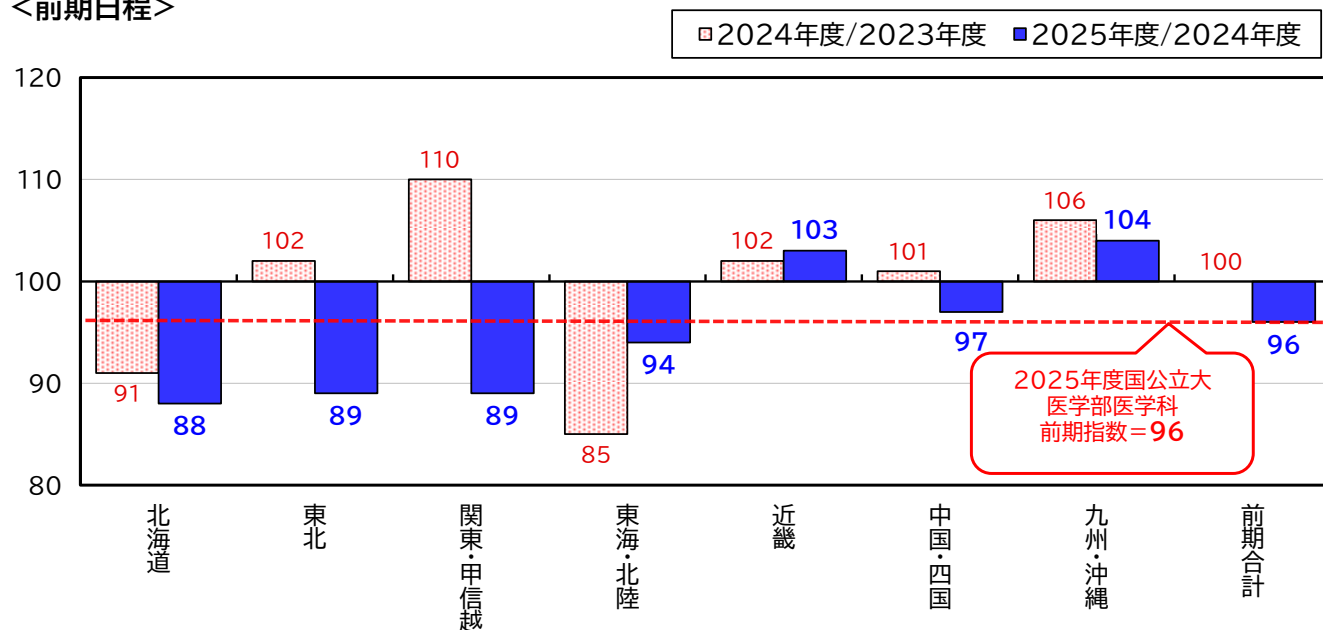
医学部医学科(以下「医学科」)一般選抜全体の志願者数は、後期募集廃止大学の増加、地域枠を中心とした総合型選抜や学校推薦型選抜への募集人員の移行、受験人口減少に伴う既卒受験生の減少などの減少要因により2021年度までは7年連続減少しました。しかし、コロナ禍による医学への関心の高まりにより、現役生の医学科志望者増加と固い志望動機を持ち他系統への志望変更を考えない受験生の増加により、2022年度、2023年度は2年連続増加しました。志願者の増加に伴い、難易度が高まったことから敬遠され、2024年度は474人(98)の微減、2025年度は1,079人(95)のやや減少と2年連続減少となりました。

日程別では、前期は667人(96)のやや減少で、5年ぶりに減少しました。後期も412人(94)のやや減少で、2年連続減少しました。この結果、志願倍率は前期が4.47倍→4.31倍と0.16ポイントダウン、後期は20.12倍→19.22倍と0.90ポイントダウンとなりました。

□前期の地区別では九州・沖縄、近畿がやや増加、北海道、東北、関東・甲信越が減少

〔地区別志願者指数〕

<前期日程>



前期合計では667人(96)のやや減少でした。地区別では、九州・沖縄(104)、近畿(103)はやや増加しましたが、その他の地区は全て減少で、北海道(88)、東北(89)、関東・甲信越(89)は減少、東海・北陸(94)、中国・四国(97)がやや減少でした。

○北海道(88)

北海道大(101)は前年度並で、志願者数は3年連続で 300 人を下回った。一方で、旭川医科大(65)は2年連続大幅減少、札幌医科大(91)は2年連続減少。

○東北(89)

秋田大(122)は大幅増加で、3年連続増加し志願者数は 300 人を上回った。山形大(116)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、福島県立医科大(37)は激減で、志願者数は 200 人を下回った。東北大(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○関東・甲信越(89)

群馬大(117)は大幅増加で2年連続増加。横浜市立大(114)は2年連続増加。一方で、信州大(62)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、筑波大(78)は2年連続増加の反動で大幅減少、志願者数は 200 人を下回った。千葉大(80)も2年連続増加の反動で大幅減少。新潟大(87)は減少、東京大(93)はやや減少。

○東海・北陸(94)

富山大(253)は前年度ほぼ半減の反動で 2.5 倍以上の激増、名古屋市立大(114)、浜松医科大(113)は増加。一方で、三重大(42)は前年度大幅増加の反動で半減以下、金沢大(73)は大幅減少、岐阜大(77)は2年連続大幅減少、福井大(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○近畿(103)

滋賀医科大(145)は2年連続大幅増加、神戸大(108)は増加で3年連続増加、大阪大(105)はやや増加で2年連続増加。一方で、大阪公立大(71)は第1段階選抜の基準変更の影響から大幅減少、奈良県立医科大(84)は前年度欠員補充まで行ったが2年連続大幅減少で、志願者数は 50 人を下回り、募集人員が 22 人になった 2013 年度以降最少。京都府立医科大(92)は2年連続減少。

○中国・四国(97)

鳥取大(197)は前年度ほぼ半減の反動でほぼ倍増、徳島大(153)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、広島大(123)は2年連続減少の反動で大幅増加、岡山大(115)は大幅増加で、志願者数は3年ぶりに 300 人を上回った。一方で、山口大(63)、島根大(71)はいずれも2年連続大幅減少、香川大(79)、高知大(81)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少、愛媛大(91)は前年度大幅増加の反動で減少。

○九州・沖縄(104)

宮崎大(153)、鹿児島大(150)、佐賀大(127)はいずれも前年度減少の反動で大幅増加、熊本大(108)は2年連続増加。一方で、長崎大(76)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、大分大(78)は大幅減少で2年連続減少、九州大(95)は3年連続減少、琉球大(95)は2年連続減少。

<後期日程>

後期合計では 412 人(94)のやや減少でした。

地区別では、1大学のみ募集である地区では、北海道(78)は旭川医科大のみで2年連続大幅減少、近畿(110)は奈良県立医科大のみで2年連続減少の反動で増加、中国・四国(182)は山口大のみで2年連続減少の反動で激増。

複数大学の募集がある4地区で増減が目立ったのは、東北(119)は大幅増加。一方で、関東・甲信越(81)、東海・北陸(82)はいずれも大幅減少、九州・沖縄(91)は減少。

○東北(119)

秋田大(164)は前年度大幅減少の反動で激増。山形大(58)は大幅減少で、2年連続減少し志願者数は 200 人を下回った。

○関東・甲信越(81)

全ての大学が減少で、山梨大(76)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、東京科学大(93)、千葉大(96)はいずれもやや減少で2年連続減少。

○東海・北陸(82)

全ての大学が減少で、福井大(74)は前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少、志願者数は 450 人を下回った。三重大(89)は減少、名古屋大(92)は前年度大幅増加の反動で減少、浜松医科大(94)はやや減少で、志願者数は2年連続 250 人を下回った。

○九州・沖縄(91)

鹿児島大(115)は大幅増加で2年連続増加。一方で、宮崎大(68)は2年連続大幅減少で志願者数は 250 人を下回った。佐賀大(76)は大幅減少で志願者数は 200 人を下回った。琉球大(98)は微減だが2年連続減少。

〔大学別志願状況〕

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2025年度		2024年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2025年度	2024年度	2023年度	
北海道	旭川医科大	前		570	350	-78	65	40	147	40	225	3.7	5.6	6.7	<変更点> 第1段階選抜基準：5倍⇒4倍 第1段階選抜基準の変更もあり、前年度大幅減少の反動はなく大幅減少。志願倍率も5.6倍⇒3.7倍にダウン。
		後		620	250	-65	78	8	232	8	297	29.0	37.1	66.8	<変更点> 第1段階選抜基準：5倍⇒4倍 第1段階選抜基準の変更もあり、前年度大幅減少の反動はなく大幅減少。志願倍率も37.1倍⇒29.0倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は52.6%だった。
	北海道大	前		300	450	+3	101	89	298	89	295	3.3	3.3	3.2	2年連続前年度並で、志願者数は3年連続で300人を下回った。 ※募集人員はフロンティア入試の欠員分の4人を含む(2024年度4人)。
	札幌医科大	前		750	800	-28	91	20	299	20	57	4.0	2.9	4.4	<変更点> <個>数<200>+理2<200>+外<200> +面<100>=総点<700> ⇒数<200>+理2<200>+外<200> +面<200>=総点<800> 個別試験で面接の配点が増加したが、2年連続減少。志願倍率も4.4倍⇒4.0倍にダウン。
		先進研修連携枠						55		55	270		4.9	5.1	
東北	弘前大	前		1050	900	+90	124	50	458	50	368	9.2	7.4	6.8	<変更点> <個>総合問題+面⇒数+外+面 個別試験で総合問題から数学+外国語の学科試験に変更になったが、青森県定着枠は、3年連続大幅増加の反動で大幅減少。一般枠は4年連続増加で、志願者数は前期全体で6年ぶりに600人を上回った。
		青森県定着枠				-35	82	20	162	20	197	8.1	9.9	7.2	
	東北大	前		550	2200	-58	80	78	231	77	289	3.0	3.8	3.1	<変更点> 募集人員：77人⇒78人 募集人員の変更で1人増加したが、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.8倍⇒3.0倍にダウン。
	秋田大	前		600	400	+56	122	45	314	55	258	7.0	4.7	4.2	<変更点> 募集人員：55人⇒45人 英語配点比：リーディング：リスニング＝4：1⇒1：1 募集人員変更で10人減少したが、3年連続増加。志願倍率は4.7倍⇒7.0倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は73.2%だった。
後			750	300	+284	177	20	653	20	369	32.7	18.5	22.4	<変更点> 募集人員：<秋田県地域枠>4人⇒5人 英語配点比：リーディング：リスニング＝4：1⇒1：1 一般枠は前年度大幅減少の反動で激増。志願倍率は18.5倍⇒32.7倍にアップ。秋田県地域枠は2年連続減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は44.8%だった。	
	山形大	前		950	700	+60	121	60	348	60	288	5.8	4.8	5.4	一般枠は2年連続減少の反動で大幅増加、地域枠は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
		地域枠				-7	79	8	27	8	34	3.4	4.3	3.4	
	福島県立医科大	前		700	660	-272	33	45	132	45	404	2.9	9.0	9.7	<変更点> 募集人員：<地域枠>30人⇒25人 募集人員の変更で5人減少の地域枠は大幅減少で志願倍率も3.8倍⇒2.4倍にダウン。一般枠は激減で、志願倍率も9.0倍⇒2.9倍に大幅ダウン。医学科全体で志願者数は200人を下回った。
		地域枠				-55	52	25	60	30	115	2.4	3.8	4.0	
関東・甲信越	筑波大	前		950	1400	-37	79	48	143	46	180	3.0	3.9	2.6	<変更点> 募集人員：<地域枠(全国対象)>10人⇒5人 一般枠は前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は3.9倍⇒3.0倍にダウン。地域枠は全国対象の募集人員の変更で5人減少もあり、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
		地域枠(茨城県内対象)				-19	74	8	55	8	56	4.2	7.0	6.4	
		地域枠(全国対象)						5		10	18		1.8	0.8	

2025年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2025年度		2024年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2025年度	2024年度	2023年度	
関東・甲信越	群馬大	前		475	450	+53	118	65	341	65	288	5.2	4.4	4.1	<変更点> 募集人員：<地域医療枠> 6人⇒8人 一般枠は大幅増加で2年連続増加。志願倍率も4.4倍⇒5.2倍にアップ。地域医療枠は前年度と同じ志願者数。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は62.3%だった。
			地域医療枠			±0	100	8	33	6	33	4.1	5.5	6.2	
	千葉大	前		475	1000	-73	77	82	238	82	311	2.9	3.8	3.6	一般枠は2年連続増加の反動で大幅減少。地域枠は前年度大幅増加の反動で減少。2段階選抜が地域枠で実施され、第1段階選抜の合格率は75.9%だった。
			千葉県地域枠			-7	92	20	79	20	86	4.0	4.3	2.7	
		後		475	1000	-14	96	15	357	15	371	23.8	24.7	27.1	2年連続減少。志願者数は2年連続380人を下回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は89.6%だった。
	東京大	前		110	440	-28	93	97	388	97	416	4.0	4.3	4.3	やや減少。志願者数は4年ぶりに400人を下回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は75.0%だった。
	東京科学大	前		180	360	+5	102	69	301	69	296	4.4	4.3	4.5	東京工業大と東京医科歯科大が統合して初めての入試。前年度の東京医科歯科大と比較して前年度並。志願倍率は3年連続4倍台。
		後		500	200	-12	93	10	161	10	173	16.1	17.3	20.4	前年度の東京医科歯科大と比較してやや減少で2年連続減少。志願倍率は17.3倍⇒16.1倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は74.5%だった。
	横浜市立大	前		1000	1400	+34	114	58	284	58	250	4.1	3.6	3.3	医学部全体で2年連続増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は75.4%だった。
			地域医療枠					9		9					
神奈川県指定診療科枠							3		3						
新潟大	前		800	1200	-48	87	80	319	80	367	4.0	4.6	4.3	減少で志願倍率は4.6倍⇒4.0倍にダウン。	
山梨大	後		1000	2300	-419	76	90	1345	90	1764	14.9	19.6	14.8	前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も19.6倍⇒14.9倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は67.4%だった。	
信州大	前		500	600	-170	62	85	276	85	446	3.2	5.2	4.0	前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も5.2倍⇒3.2倍にダウン。	
東海・北陸	富山大	前		1000	700	+340	253	70	562	70	222	8.0	3.2	6.0	前年度ほぼ半減の反動で2.5倍以上。前年度の反動による極端な増減が継続。
	金沢大	前		950	2100	-88	73	80	238	82	326	3.0	4.0	3.5	<変更点> 募集人員：82人⇒80人 募集人員変更で2人減少したこと2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も4.0倍⇒3.0倍にダウン。
	福井大	前		1000	700	-52	80	55	210	55	262	3.8	4.8	3.8	前年度大幅増加の反動で大幅減少。前年度の反動による増減が継続。志願倍率も4.8倍⇒3.8倍にダウン。
		後		500	220	-158	74	25	441	25	599	17.6	24.0	12.1	前年度大幅増加の反動で大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は70.3%だった。
	岐阜大	前		950	1200	-46	77	55	156	55	202	2.8	3.7	10.8	2年連続大幅減少。志願倍率も10.8倍⇒3.7倍⇒2.8倍とダウン。
浜松医科大	前		475	700	+33	111	69	340	69	307	4.9	4.4	6.7	前年度大幅減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は83.4%だった。	
		地域枠			+8	157	6	22	6	14	3.7	2.3	5.3		
	後		950	350	-14	93	14	201	14	215	14.4	15.4	21.6	医学科全体では、2年連続減少。一般枠はやや減少で地域枠は増加と対照的。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は86.0%だった。	
						+1	108	1	13	1	12	13.0	12.0	11.0	

2025 年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2025年度		2024年度		志願倍率			コメント	
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2025年度	2024年度	2023年度		
東海・北陸	名古屋大	前		950	1800	-1	100	86	253	85	254	2.9	3.0	2.7	<変更点> 募集人員：85人⇒86人 第1段階選抜基準変更： 900点満点中600点(67%)以上 ⇒950点満点中650点(68%)以上 <個> 国<150>+数<500>+理<500>+外<500> +面=総点<1,650> ⇒数<600>+理<600>+外<600>+面 =総点<1,800> 個別試験で国語を廃止したが、2年連続増加した反動も小さく前年度並。	
			地域枠	950	1800	-2	86	5	12	5	14	2.4	2.8	4.6		
		後		950	0	-7	92	5	83	5	90	16.6	18.0	15.2	2年連続大幅増加の反動で減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は72.3%だった。	
	三重大	前		650	700	-350	42	70	249	70	599	3.3	8.0	4.7	前年度激増の反動で半減以下。志願倍率も8.0倍→3.3倍に大幅ダウン。	
			三重県地域医療枠					5		5						
		後		650	300	-25	89	10	204	10	229	20.4	22.9	21.2	前年度増加の反動で減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は73.5%だった。	
	名古屋市立大	前		600	1200	+26	114	60	207	60	181	3.5	3.0	3.3	<変更点> 第1段階選抜基準変更： 「総配点550点中の概ね73%以上の者を対象に募集人員の約3倍」を24/1/18に「総配点550点中407点以上(概ね74%以上)の者を対象に約3倍」に変更 →「総配点600点中の概ね74%以上の者を対象に募集人員の約3倍」を25/1/22に「総配点600点中450点以上(75%以上)の者を対象に約3倍」に変更 前年度減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は87.4%だった。	
近畿	滋賀医科大	前		650	600	+121	145	55	389	53	231	6.5	4.4	3.3	<変更点> 募集人員：<一般枠>53人⇒55人 <地域医療枠>7人⇒5人 2年連続大幅増加。医学科全体では志願倍率は3.7倍→4.5倍→6.5倍にアップ。	
			地域医療枠					5		7	37		5.3	7.4		
		京都大	前		275	1000	+13	105	105	301	105	288	2.9	2.7	2.7	やや増加。志願者数は7年ぶりに300人を上回った。
		大阪大	前		500	1500	+13	105	93	269	92	256	2.9	2.8	2.6	<変更点> 募集人員：92人⇒93人 2年連続増加。募集人員の変更で1人増加で、志願倍率は2.8倍→2.9倍にアップ。
		神戸大	前		380	480	+21	108	93	299	92	278	3.2	3.0	2.8	<変更点> 募集人員：92人⇒93人 3年連続増加。志願倍率は2.8倍→3.0倍→3.2倍にアップ。
		京都府立医科大	前		500	600	-22	92	99	267	100	289	2.7	2.9	3.5	<変更点> 募集人員：100人⇒99人 募集人員の変更で1人減少もあり、2年連続減少。志願倍率は2.9倍→2.7倍にダウン。
	大阪公立大	前		675	900	-79	71	75	196	75	275	2.5	3.4	3.1	<変更点> 第1段階選抜基準変更： 共通テストの総点が900点満点中650点(72%)以上 ⇒共通テストの総点が1000点満点中700点(70%)以上の者のうちから、募集人員の3倍まで 募集人員：<大阪府指定医療枠>5人⇒2人 2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.4倍→2.5倍にダウン。	
			大阪府指定医療枠					2		5						
		奈良県立医科大	前		900	100	-9	84	22	48	22	57	2.2	2.6	10.2	<変更点> 第1段階選抜基準変更： 15倍⇒共通テストの総点が900点満点中730点(81%)以上の者のうちから、募集人員の15倍(330人) 前年度の激減に引き続き大幅減少。志願者数は50人を下回り、募集人員が22人になった2013年度以降最少。志願倍率は10.2倍→2.6倍→2.2倍にダウン。
	後				300	900	+86	110	53	981	53	895	18.5	16.9	18.8	

2025 年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2025年度		2024年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2025年度	2024年度	2023年度	
近畿	和歌山県立医科大	前		600	700	-6	98	64	278	64	284	4.3	4.4	2.3	前年度激増の反動はなく前年度並。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は76.5%だった。
			県民医療校A			+5	112	10	46	10	41	4.6	4.1	3.4	
			県民医療校C			±0	100	2	17	2	17	8.5	8.5	5.0	
中国	鳥取大	前		920	700	+189	197	58	383	58	194	4.9	2.5	5.3	<変更点> 募集人員：<鳥取県校>14人⇒13人 前年度ほぼ半減の反動でほぼ倍増。志願倍率も5.3倍→2.5倍→4.9倍にアップ。
			鳥取県校					13		14					
			兵庫県校					2		2					
			島根県校					5		5					
中国	島根大	前		730	460	-131	71	55	320	55	451	5.8	8.2	10.8	一般枠、定着枠いずれも2年連続大幅減少。志願倍率は一般枠で8.2倍→5.8倍、定着枠で12.0倍→8.0倍にダウン。
			県内定着枠			-12	67	3	24	3	36	8.0	12.0	18.0	
中国	岡山大	前		550	1100	+44	115	94	335	95	291	3.6	3.1	2.8	<変更点> 募集人員：95人⇒94人 2年連続増加。
	広島大	前		1000	1800	+90	123	92	487	90	397	5.3	4.4	4.7	<変更点> 募集人員：90人⇒92人 2年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も4.4倍→5.3倍にアップ。
	山口大	前		950	600	-118	63	55	204	55	322	3.7	5.9	6.9	2年連続大幅減少。志願倍率も6.9倍→5.9倍→3.7倍とダウン。
		後		950	500	+201	182	7	445	7	244	44.5	24.4	25.4	2年連続減少の反動で大幅増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は33.7%だった。
		地域校						3		3					
四国	徳島大	前		900	400	+78	153	61	224	62	146	3.7	2.4	3.1	<変更点> 募集人員：62人⇒61人 前年度大幅減少の反動で大幅増加。前年度の反動による増減が継続。
	香川大	前		700	700	-87	79	67	323	70	410	4.3	5.2	3.6	<変更点> 募集人員：70人⇒67人 前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は5.2倍→4.3倍にダウン。
		地域校						9		9					
	愛媛大	前		500	700	-53	91	55	516	55	569	9.4	10.3	4.4	前年度激増の反動で減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は64.0%だった。
高知大	前		950	1000	-86	81	54	360	55	430	6.1	7.8	6.0	2年連続大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は7.4倍→6.1倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は77.8%だった。	
	地域校						5		5	16		3.2	4.4		
九州・沖縄	九州大	前		475	700	-13	95	105	252	105	265	2.4	2.5	2.6	やや減少。志願倍率も2.5倍→2.4倍にダウン。
	佐賀大	前		640	300	+51	127	50	238	50	187	4.8	3.7	4.6	6年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率は3.7倍→4.8倍にアップ。
		後		640	120	-53	76	4	170	10	223	42.5	22.3	22.3	
	長崎大	前		465	800	-142	76	76	446	76	588	5.9	7.7	3.8	前年度大幅増加の反動で大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は85.2%だった。
熊本大	前		450	800	+34	108	86	467	87	433	5.4	5.0	4.2	<変更点> 募集人員：87人⇒86人 前年度大幅増加に引き続き増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は74.1%だった。	
大分大	前		500	550	-81	78	55	285	55	366	4.4	5.6	6.1	大幅減少。志願倍率は5.6倍→4.4倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は68.4%だった。	
	地元出身者校						10		10						
宮崎大	前		1000	600	+132	153	45	382	45	250	8.5	5.6	6.3	前年度減少の反動で大幅増加。2018年度以降前年度の反動による増減が継続。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は70.7%だった。	
	後		1000	150	-112	68	15	238	15	350	15.9	23.3	57.9		2年連続大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は92.4%だった。

2025年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2025年度		2024年度		志願倍率			コメント
				共通	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2025年度	2024年度	2023年度	
九州・沖縄	鹿児島大	前		925	920	+146	150	69	440	69	294	6.4	4.3	4.8	前年度減少の反動で大幅増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は78.6%だった。
		後		925	320	+52	115	21	393	21	341	18.7	16.2	14.9	2年連続増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は53.4%だった。
	琉球大	前		1000	800	-19	95	70	328	70	347	4.7	5.0	6.0	前年度大幅減少に引き続きやや減少。志願倍率は6.0倍→5.0倍→4.7倍にダウン。
		後		1100	300	-10	98	25	513	25	523	20.5	20.9	27.3	前年度大幅減少に引き続き微減。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は58.9%だった。